

第 2716 圖



おほしらびそ
一名 りゅうせん(同名アリ)・おほりゅう
せん・とど・あをもりとどまつ
Abies Mariesii Mast.

中部以北ノ高山ニ生ズル常緑大喬木ニシテ一般ニだ
けもみヨリ高處ニ森林ヲ形成シ、こめつが・しらびそ
ト同一帯ニ在リ。幹ハ直聳シ高サ25m内外、徑60cm許
ノ大木トナレド、高山ニシテハ往々矮樹ト成リ、樹皮
ハ暗灰色ニシテ平滑ナレド嫩枝ハ赤褐色ヲ帯ビテ軟
毛ヲ密生スルノ特徴アリ。葉ハ密ニ枝上ニ互生シ倒披
針狀線形ニシテ長サ1.5cm内外、鈍頭微凹端、もみ
ノ如ク剛強ナラズ、裏面ハ白色ヲ呈シ、断面ニケル樹
脂道ハ葉ノ下縁ニ接ス。雌雄同株ニシテ六月開花ス。
雄花ハ小枝上ニ着キ長橢圓形ニシテ黄花粉ヲ吐キ、雌
花モ亦小枝梢ニ出ツ。毬果ハ卵狀球形或ハ廣橢圓形ヲ
成シ暗紫褐色ヲ呈シ長サ10cm以内、先頭ハ圓形。苞鱗
ハ倒卵形、楔底ニシテ其長サハ扇形ヲ成セル種鱗ノ三
分ノ二長ナレバ毬果ニアリテハ脱スルモ外ニ露ハレズ。
熟スレバ中軸ヲ殘シテ容易ニ脱落ス。和名大白槍をハ
しらびそニ似テ毬果豐大ナレバ云フ、とどハ多分あい
ぬ語ナラン、青森とどまつハ陸奥即チ青森縣下ニ在
レバ斯克云ヘドモ是レ舊來ノ稱呼ナラズ。龍髯ノ解ハし
らびそノ條下ヲ看ルベシ。

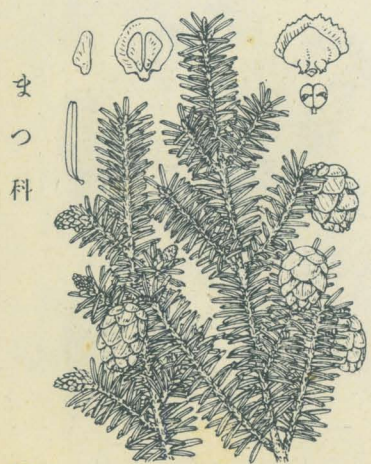
第 2717 圖



さはらとが
一名 さはらつが・とがさはら・
まとが・かはき・ごようとか
Pseudotsuga japonica
Shirasawa (1900).
(= Tsuga japonica Shiras.)

本州大峰山脈及ヒ土佐ノ深山ニ生ズル常緑ノ大喬木。
幹ハ直聳シ高サ30m徑1m許ニ達シ、灰褐色ノ樹皮ハ縦
裂シテ薄片ト成ル。葉ハ稍ニ列生ニシテ枝ハ葉枕ヲ
生ゼズ、針形、先端ハ鋭形、多少内方へ彎曲シ長サ2.5-
3cm内外、表面帶着綠色、裏面ハ白ク、もみ類ニ比シテ
纖薄ノ感アリ、枯レシ後ハもみ類ノ脆キニ似ズシテ容
易ニ脱落セズ。嫩枝ノ基部ニハ夏ノ經ルモ光澤アル赤
褐色ノ冬芽鱗片ヲ猶存ス。雌雄同株、四月開花ス。雄花
ハ小枝ニ群着シ橢圓形ニシテ黄花粉ヲ吐キ、雌花亦小
枝ニ着テ上向ス。毬果ハ短枝上ニ點頭シ卵圓形、5cm
内外、熟シテ藍黒褐色ト成ル。種鱗ハ圓形ヲ成シ質厚
ク内ニ凹ミ、苞鱗ハ種鱗ヨリ長クシテ外ニ露ハレ毬果
ヲシテ特狀ヲ現ハサシメ、其先端ハ三裂シ中裂片ハ針
狀ナリ。種子ハ三角形ニシテ有翼。材ハ稍軟脆ニシテ
從テ良材ナラズ。和名さはらとがハさはらニ似タルと
がノ意ニシテ是レ其材ノ類似ヨリ起リシ名ナラン、又
とがさはらモ亦同源ノ稱ナルベシ、眞とがハ眞正ト
とがノ意、さはらつがハさはらとがト同意、かはきハ皮
木ナランモ何ニ基ツク乎、ごようとかハ何ノ意乎。

第 2718 圖



つが
一名 とが・つがまつ
Tsuga Sieboldii Carr.
(= Abies Tsuga Sieb. et Zucc.)

日本中部以南ノ淺山并ニ深山ニ生ズル常緑多葉ノ常
緑喬木、幹ハ直立シ、大ナル者ハ高サ30m徑1mニ達ス
ルアリ、樹皮ハ灰色ニシテ深ク縦裂シ、一年生枝ハ全
ク平滑無毛ナリ。葉ハ枝上ニ多ク、小形ニシテ長短アリ
、略ボ二列生ヲ成シテ小枝ノ左右ニ駢列シ、線形ニ
シテ扁平、先端ハ微凹形、基部ハ短柄ト成リ、長サ1-2
cmアリ、樹脂道ハ下側ノ中央ニ一箇アルノミ。雌雄同
株ニシテ四月ニ開花ス。雄花ハ長卵形ニシテ小枝端ニ
獨生シ約胞ハ横裂シ黄花粉ヲ吐キ、雌花亦小枝端ニ生
ジ長卵形ニシテ紫色ヲ呈シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ
長卵形、長サ2-3cmアリ、初メ綠色、成熟スレバ褐色
ヲ帯ビ、果梗ヲ具ヘ枝端ニ下垂ス。種鱗ハ稍圓形、苞鱗
ハ倒卵形ニシテ小ナリ。種子ハ倒卵形、長サ4mm内外、
翼ハ披針形、稍種子ヨリ長シ。材ハ種々ノ用途ニ用キ
ラレ又ハるぶヲ製シ、樹皮ヨリハたんに(單寧)ヲ採
ル。和名つが并ニとがハ語原不明ナリ。つがまつハつ
がナルまつト謂フ意ナリ。

こめつが

一名 ひめつが

Tsuga diversifolia Mast.

(= T. Sieboldii Carr. var. nana Carr.)
中部并ニ以北ノ山地ニ生ズル常緑多葉ノ常緑喬木。幹
ハ直立シ大ナル者ハ高サ20m徑70cm内外ニ達シ、樹皮
ハ灰色ニシテ堅ク淺キ縦裂アリ、一年生枝ニハ褐色ノ
細軟毛アリ。葉ハ枝上ニ多ク、小形ニシテ長短アリ、小
枝ノ左右ニ駢列シ略ボ二列生ヲ呈シ、線形ニシテ長サ
6-15mm許、先端圓形又ハ微凹形、基部ニ短柄アリ、
下側ノ中央ニ維管束一箇アリ。雌雄同株ニシテ六月ニ
開花ス。雄花ハ卵圓形ヲ成シテ小枝端ニ獨生シ約胞ハ横
裂シテ黄花粉ヲ吐キ、雌花亦小枝頂ニ獨生シ卵圓形ニ
シテ線紫色ヲ呈シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ卵狀橢圓
形ニシテ無梗又ハ短梗アリ、長サ3cm内外、枝端ニ下
垂ス。種鱗ハ圓形、苞鱗ハ微小。種子ハ卵形ニシテ翼ア
リ。本種ハつがニ酷似スレドモ、一年生ノ枝ニハ其小
枝面ノ縱溝中ニ褐色ノ細軟毛アルト、且其毬果短小、
并ニ其葉小形ナルトニ由リ以テ識別シ得ベシ、又つが
ハ主トシテ本州中部以南ノ山地ニ生ズルモこめつが
ハ中部以北ノ山地ニ多ク生ズルヲ常トス。材ハ種々ノ
用途ニ供セラル。和名つが・姫つがハ其葉小形ナルヨ
リテ云フ。

えぞまつ

一名 くろえぞ

Picea jezoensis Carr.

(= P. ajanensis Fisch.)

北海道以北ニ多ク常緑大喬木、亭々タル直幹ハ高サ40
m 徑1m 許ニ達ス。枝條平滑ニシテ光澤ヲ有シ密ニ多
數ノ葉ヲ互生シ顯著ナル葉枕ハ全面ニ生ズレド葉ハ
軟ニ列生ヲ呈シ扁平ナル線形ニシテ先端ハ鋭ノ如ク
尖リ下端ハ葉枕ト節合シ乾ケハ容易ニ脱落シ去リ、多
少内方へ彎曲シ形態學上ノ表裏ト相反シ其裏面ハ濃
綠色ニシテ光澤ヲ有シ外面ニ向テ相反シ其表面ハ之
レニ反シテ本然ノ表面ハ氣孔列存在シ白色ヲ帯ビテ
内ニ向フヲ以テ著シ。雌雄同株ニシテ五六月ノ候ニ開
花ス。雄花ハ圓筒形ヲ成シ約胞ハ縦裂シテ黄花粉ヲ吐
キ、雌花ハ小枝梢ニ出デ長橢圓狀圓筒形ニシテ上向シ
帶紫色ヲ呈シ、種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ長橢圓狀圓
筒形ニシテ鈍頭、黄綠色ヨリ帶黄褐色ト成リ長サ6-
7.5cm 許アリテ上部ノ枝端ヨリ傾垂シ、熟スルモ苞鱗
及ビ種鱗ノ脱落ヲ見ズ。種鱗ハ倒卵狀楔形ヲ成シ有翼
ノ二種子アリ。本種ハ本州産ノたうひト酷似スレドモ
嫩枝ハ紅色ヲ帯ビシテ黄褐色ヲ呈シ、種鱗ハ橢圓形
ナラザルヲ以テ區別スベシ。和名ハ蝦夷まつニシテ北
海道ニ産スルヨリ云ヒ、黒蝦夷ハ黒蝦夷まつノ略ニシ
テ其老樹ノ幹腐暗褐色ヲ呈スルヨリ云フ。

たうひ 一名 とらのをのみ

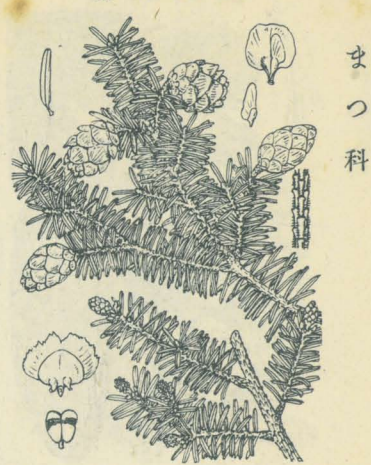
Picea jezoensis Carr.

var. hondoensis Rehd.

(= P. hondoensis Mayr.)

本州ノ山地ニ生ズル常緑多葉ノ常緑喬木、幹ハ直聳シ
高サ30m徑60cm内外ニ達シ、樹皮ハ帶着暗褐色ヲ呈シ
多少灰色ヲ帯ビ小形鱗片ト成リテ剝脱ス。葉ハ稍扁平
ニシテ線形ヲ成シ多少下方ニ弓曲シ稍密接シテ螺旋
狀ニ黄褐色枝上ニ着キ、上面綠色、裏面白色、葉體反折
シテ表面ハ下ニ向ヒ裏面ハ上ニ向フ者多ク、長サ1-2cm
許アリテ先端鋭形、横断面ハ扁平ニシテ樹脂道ハ上面
ノ表皮ニ接シ、葉落スレバ枝面ニ突起セル多數ノ葉
枕着ク見ユ。雌雄同株、六月開花ス。雄花ハ小枝ニ出
テ圓筒形、苞鱗ニ二約胞アリテ縦裂シ黄花粉ヲ吐キ、
雌花ハ小枝端ニ出デテ斜上シ圓筒形ニシテ紅紫色ヲ
帯ビ、種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ其嫩キ者ハ帶紅紫色
ナレドモ成熟スレバ黄綠色ヲ呈シ枝端ヨリ傾垂シテ
圓筒狀ヲ成シ兩端稍狹窄シ長サ4-6cm許アリ、種鱗ハ
倒卵狀披針形ニシテ先端凹頭ヲ成シ鋸齒アリ、苞鱗ハ
微小ニシテ小劍狀ヲ呈ス。種子ハ倒卵狀橢圓形、長サ
2-3mm、翼ハ種子ノ約二倍長アリ。材ハひのきのノ代用
品トシテ諸種ノ用途ニ供セラレ、又ハるぶヲ造ル。和
名唐檜ハ之レヲから様ノひのきト見立テ此稱アリ、虎
の尾もハ其葉ヲ着ケシ枝條ヲ虎尾ニ擬セシナリ。

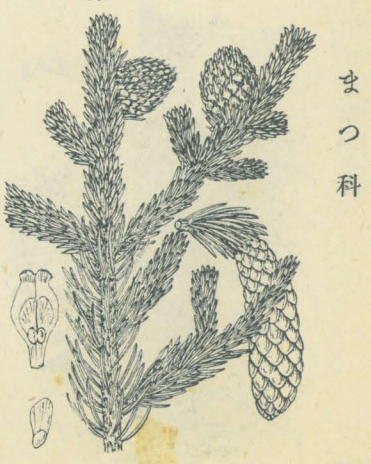
第 2719 圖



第 2720 圖



第 2721 圖



まつ科

まつ科

まつ科